



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東  
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 光晴 TEL 03-3471-0011  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,421	△5.7	667	△20.7	616	△20.8	326	△38.9
2019年3月期第3四半期	13,166	8.4	841	37.0	778	44.8	534	46.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 325百万円 (△27.3%) 2019年3月期第3四半期 448百万円 (△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.50	57.58
2019年3月期第3四半期	95.73	94.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	19,277	8,246	42.0	1,451.83
2019年3月期	19,377	8,057	40.9	1,421.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,104百万円 2019年3月期 7,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期（予想）				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	△4.7	940	△4.1	850	△3.8	520	△11.4	93.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	6,006,373株	2019年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	424,252株	2019年3月期	424,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,582,121株	2019年3月期3Q	5,582,230株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(追加情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済状況は、輸出は弱さが続いているものの雇用情勢の改善を背景に緩やかに回復いたしました。世界経済は、緩やかに回復しているものの、引き続き通商問題、中国経済の減速の影響等により先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、国内貨物については、消費増税などの影響により消費関連、生産関連も低調に推移いたしました。国際貨物については、米中貿易摩擦や中国経済減速などの影響により低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは、3カ年の中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の達成に向けて、ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、航空貨物及び半導体製造装置の取扱いが減少したことに加え、前年まで業界の活況が続いていた工作機械の取扱いもピークアウトしたことにより、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高124億21百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益6億67百万円（前年同期比20.7%減）、経常利益6億16百万円（前年同期比20.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億26百万円（前年同期比38.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 梱包事業部門

航空貨物の取扱い及び半導体製造装置が減少したことに加え、業界の活況が続いていた工作機械の取扱いもピークアウトしたことにより、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高87億39百万円（前年同期比9.7%減）、セグメント利益9億33百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

## ② 運輸事業部門

医療機器の取扱いが増加したことにより、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、ドライバー不足により社有トラックの稼働率が低下したことにより、減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高18億89百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益73百万円（前年同期比40.8%減）となりました。

## ③ 倉庫事業部門

前期に導入した自動ロボット制御ピッキングシステムの設備使用料収入の増加等により、売上高及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高15億77百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益3億49百万円（前年同期比44.6%増）となりました。

## ④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が高水準で推移したことにより、売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

セグメント利益につきましては、定期修繕費の増加により減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高2億15百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益76百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産192億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億円減少いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、54億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億56百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1億61百万円、受取手形及び売掛金の減少5億94百万円によるものであります。

固定資産につきましては、138億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少2億27百万円、機械装置及び運搬具の減少65百万円、リース資産の減少1億42百万円、建設仮勘定の増加8億5百万円、投資その他の資産において、繰延税金資産の減少80百万円によるものであります。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、110億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、47億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加3億96百万円、未払法人税等の減少1億48百万円、賞与引当金の減少2億円、災害損失引当金の増加91百万円及びその他の増加97百万円によるものであります。

固定負債につきましては、63億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億57百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少2億66百万円、リース債務の減少1億81百万円によるものであります。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、82億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1億73百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の40.9%から42.0%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,489,876	1,651,781
受取手形及び売掛金	3,976,726	3,382,689
原材料及び貯蔵品	149,757	162,501
未収還付法人税等	—	23,849
その他	208,554	246,523
貸倒引当金	△5,800	△4,700
流動資産合計	5,819,114	5,462,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,966,901	6,739,859
機械装置及び運搬具 (純額)	572,891	507,731
土地	2,352,100	2,358,759
リース資産 (純額)	1,642,360	1,499,706
建設仮勘定	52,087	857,564
その他 (純額)	45,413	39,603
有形固定資産合計	11,631,754	12,003,225
無形固定資産		
ソフトウェア	22,547	23,752
その他	827	723
無形固定資産合計	23,374	24,476
投資その他の資産		
投資有価証券	511,358	486,141
破産更生債権等	7,197	6,977
繰延税金資産	755,985	675,143
その他	636,130	625,402
貸倒引当金	△7,197	△6,977
投資その他の資産合計	1,903,475	1,786,687
固定資産合計	13,558,604	13,814,389
資産合計	19,377,718	19,277,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762,403	689,498
短期借入金	2,106,030	2,502,684
リース債務	273,895	277,764
未払法人税等	173,580	25,555
賞与引当金	381,258	180,721
災害損失引当金	—	91,237
その他	847,582	945,566
流動負債合計	4,544,749	4,713,028
固定負債		
長期借入金	3,770,410	3,504,269
リース債務	1,405,356	1,223,786
退職給付に係る負債	871,641	871,361
資産除去債務	433,061	452,265
長期預り金	212,487	208,945
金利スワップ	82,287	57,222
固定負債合計	6,775,244	6,317,850
負債合計	11,319,993	11,030,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	3,121,805	3,294,900
自己株式	△208,823	△208,823
株主資本合計	7,877,977	8,051,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,942	174,965
繰延ヘッジ損益	△57,090	△39,700
為替換算調整勘定	△14,374	△46,595
退職給付に係る調整累計額	△41,802	△35,477
その他の包括利益累計額合計	54,674	53,191
新株予約権	25,009	41,247
非支配株主持分	100,063	100,643
純資産合計	8,057,725	8,246,154
負債純資産合計	19,377,718	19,277,033

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	13,166,701	12,421,381
売上原価	10,547,033	9,965,132
売上総利益	2,619,668	2,456,249
販売費及び一般管理費		
販売費	823,885	840,761
一般管理費	953,887	948,221
販売費及び一般管理費合計	1,777,772	1,788,983
営業利益	841,896	667,265
営業外収益		
受取利息	994	1,893
受取配当金	12,520	11,338
受取保険金	5,657	6,300
為替差益	3,764	4,334
その他	2,405	3,634
営業外収益合計	25,342	27,502
営業外費用		
支払利息	85,771	78,109
災害復旧費用	2,843	—
その他	64	4
営業外費用合計	88,678	78,113
経常利益	778,559	616,655
特別利益		
固定資産売却益	200	—
投資有価証券売却益	5,226	3,450
災害保険金収入	—	9,315
特別利益合計	5,426	12,765
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2,687
災害による損失	—	120,627
特別損失合計	—	123,314
税金等調整前四半期純利益	783,985	506,106
法人税、住民税及び事業税	149,247	110,096
法人税等調整額	100,529	67,407
法人税等合計	249,776	177,503
四半期純利益	534,209	328,602
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△162	2,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	534,371	326,565



四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	534,209	328,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,467	5,566
繰延ヘッジ損益	15,376	17,389
為替換算調整勘定	△12,116	△32,221
退職給付に係る調整額	7,078	6,325
その他の包括利益合計	△86,128	△2,940
四半期包括利益	448,080	325,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,726	325,082
非支配株主に係る四半期包括利益	1,353	579

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,676,772	1,828,613	1,450,271	211,044	13,166,701	13,166,701
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,126	—	—	3,126	3,126
計	9,676,772	1,831,740	1,450,271	211,044	13,169,828	13,169,828
セグメント利益	1,138,971	123,884	241,641	84,281	1,588,779	1,588,779

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,588,779
セグメント間取引消去	246
全社費用（注）	△747,129
四半期連結損益計算書の営業利益	841,896

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,739,099	1,889,568	1,577,595	215,118	12,421,381	12,421,381
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,598	—	—	3,598	3,598
計	8,739,099	1,893,166	1,577,595	215,118	12,424,980	12,424,980
セグメント利益	933,649	73,340	349,400	76,143	1,432,534	1,432,534

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,432,534
セグメント間取引消去	243
全社費用（注）	△765,512
四半期連結損益計算書の営業利益	667,265

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当社における2019年9月9日の台風15号及び2019年10月12日の台風19号の影響に関しましては、人的被害は無く、建物や設備等に一部被害が出ておりますが、稼働に大きな影響は出ておりません。被害を受けたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、「災害による損失」として事業資産の修繕費用等120,627千円を特別損失に計上しております。現時点で合理的に見積もることが困難な費用等については、「災害による損失」には含めていない為、当該計上額は、今後変動する可能性があります。なお、損害額の一部について保険が適用できる見込みであります。